

学習プログラムを開発しよう

グループ	西部G	メンバー	
------	-----	------	--

1 学習目的

地域交流を深めるために、新住民の地域行事への参加へ意欲を持たせる。
地域住民が交流することで、旧住民・新住民が一体となり、地域への愛着をもつ

2 学習目標

地域マップを住民・学校で連携しながら作ることで地域の事を知ることが出来る
祭り等の地域行事を住民みんなで協力して行うことにより、住民どうしの連帯感を高め、交流を深める。地域資源を活用し、住民どうしの距離感を縮める

3 プログラム名

はなれっぴマップ

4 対象・定員

小学生とその保護者 合計20人程度 基本固定、参加者は随時募集

5 参加費（受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお、算出の根拠も明確にする。）

保険料が必要な回は100円 他は無料
(第1回、第3回)

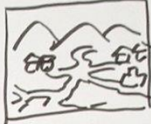
6 事前に必要な知識や準備物

地域に詳しい地元住民を募集（打ち合わせも必要）
公民館以外に出る時の保険、近くの医療機関をリサーチ、急救箱、飲み物は参加者持参
元になるマップの用紙、ふせん、現地の写真を撮るためのカメラ、筆記用具

7 留意点

安全面の配慮、衛生面の配慮

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所	評価 (振り返りの方法)
第1回 春 4月 第1回 10:00 ? 13:00	桜の名所や遊具のある公園、見せ場のよい場所を地域の方で紹介してもらい、実際にやってみることで地域を知ることが出来る。昼食も公園でとり、公民館に戻りマップ作成	はじめてマップ ～春だ! ピクニックに いこう!～	地域住民 ボランティア	桜の名所 はれ、と公園	アンケート  イメージとして一枚のマップに書き込みをする写真をはる等に作成してもらう 成果物 (第1回に作成したマップ)
第2回 夏 7月末 16:00 ? 19:00	はじめてマップ ～防災キャンプ～	危険な場所や避難場所を知る。 キャンプを通して防災に学ぶ キャンプ中にマップ作成 晩ごはんをみんなで作る	地域住民 消防団OB	公民館	前回のふり返し 成果物 (第2回に作成したマップ)
第3回 秋① 10月第2日曜日 9:00 ? 12:00 (30分終了時)	はじめてマップ ～おみこしめし～	地域の歴史を知る 実際に祭に参加して(こども会) 地域の人との交流を深める	地域住民 祭実行委員	公民館 ↓ 神社	前回のふり返し 成果物 (第3回に作成したマップ)
第4回 冬 12月 第1回 10:00 ? 12:00	はじめてマップ ～はじめての秋みこし～ (10月第3日曜日)	祭実行委員による啓蒙 その後改めて祭の会場となった神社に行き、どんぶり、松ぼりりなど秋のものをさがす。 (マップづくり)	祭実行委員	公民館 ↓ 神社	成果物 (まとめたマップ) みんなで作ったのり-スを作る 作りロビーにかざす
その後の展開 (次年度)		成果物を学校に提供 授業内で使ってもらい、 次年度から力を促す。 公民館マップでも掲載 ロビーに展示			